

(別添 3)

イベント情報集発信システム構築及び運用保守業務企画提案書評価項目

番号	大分類		中分類		小分類	配点	要件	仕様書 該当項目	必須 区分	備考欄
1	1	基本要件	1	システム環境等	1		本システムは、インターネット環境により利用するものとし、特別なソフトウェア等をインストールすることなく利用できること。	6(1)ア	必須	
2					2		本システムは、パソコンの利用のみならず、スマートフォンやタブレットの利用も想定していることから、スマートフォン等で利用する際はレスポンス対応とすること。	6(1)イ	必須	
3					3		表 2 で示す動作環境で利用できるシステムとする。なお、システムがサポートするOS及びWebブラウザはメーカーサポートが提供されているものとする。 【表 2 動作環境】 対応OS : Windows、Mac OS、Android、iOS 対応ブラウザ : GoogleChrome、Microsoft Edge、Firefox、Safari	6(1)ウ	必須	
4					4		今後、新しいバージョンのOS、Webブラウザがリリースされた場合、追加費用無しで利用可能となるよう速やかに対応すること。	6(1)エ	必須	
5					5		本システムで使用するサーバ等の機器の設置場所及びデータの保管場所は日本国内に限り、日本の法令が適用されること。	6(1)オ	必須	
6					6	140	本システムがインターネットに接続するための回線やドメイン、グローバルIPアドレス等については受注者が確保すること。	6(1)カ	必須	
7			2	アカウント	1		イベント情報の登録、管理等を行うための管理用アカウントを提供すること。	6(2)ア	必須	
8					2		県内市町村の担当者等によるイベント情報の直接登録等も必要となる可能性があるため、将来的な編集用アカウントの追加にも対応できること。	6(2)イ		
9			3	利便性の向上 及び利用者本 位のサービス	1		ユニバーサルデザインに配慮したシステムであること。	6(3)ア		
10					2		本システムのユーザインターフェースは、初めて利用する者が直感的に操作できるなど、全体構成のわかりやすさ、必要情報の閲覧の容易性、システム操作の簡易性等について考慮し、利用者がストレスを感じない扱いやすい設計とすること。	6(3)イ	必須	
11			4	著作権	1		第三者が権利を有している画像等を使用する場合は、事前に権利者から二次利用を含めた使用の許諾を得た上で、必要となる一切の手続き及び使用料の負担等は受託者が行うこと。	6(4)	必須	
12			5	新地方創生交 付金への対応	1		本業務は、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型TYPE V）を活用して実施するため、新しい地方経済・生活環境創生交付金制度概要等、関連する国の通知の内容等を踏まえて実施すること。	6(5)	必須	

番号	大分類	中分類	小分類	配点	要件	仕様書 該当項目	必須 区分	備考欄
13	2 機能要件	1 イベント情報の登録・管理	1		次のイベント情報（項目）を収集・登録するものとする。なお、②タグ（カテゴリ）の項目については、発注者と協議の上、決定する。 ①イベント名、②タグ（カテゴリ）、③開始日、④終了日、⑤開始時間、⑥終了時間、 ⑦説明（イベント内容）、⑧場所名称（イベント会場の名称）、⑨対象者 ⑩所在地（イベント会場の住所）、⑪コンテンツURL、⑫掲載開始日、⑬掲載終了日、 ⑭料金（基本）、⑮連絡先名称、⑯連絡先電話番号、⑰主催者、⑱緯度、⑲経度、 ⑳画像格納先URL、㉑開催場所の地域（東部・中部・西部）、㉒写真や画像（データ） ㉓備考 （参考） ・①～㉑及び㉓は、オープンデータセットの項目 ・㉒～㉔は、オープンデータセットの項目以外の項目（独自項目）	7(1)ア	必須	
14			2		手動によるイベント情報の登録ができること。	7(1)イ	必須	
15			3		ExcelファイルもしくはCSVファイルによるイベント情報の一括登録ができること。	7(1)ウ	必須	
16			4		本システムで収集・登録したイベント情報（（２）により収集するイベント情報含む）の編集、削除ができること。	7(1)エ	必須	
17		2 イベント情報の収集	1		イベント情報が掲載されたWebサイト（20サイトを想定。対象となるサイトは発注者と協議の上、決定する。）から、（１）アの項目のうち①から㉑の項目を収集すること。なお、収集にあたっては、システムによる自動収集、受注者による手動収集など、収集方法については問わない。	7(2)ア	必須	
18			2		（２）アのイベント情報の収集は、最低週１回は行うものとする。	7(2)イ	必須	
19		3 イベント情報の発信	1		登録、収集したイベント情報をイベント発信サイトとして情報発信すること。	7(3)	必須	
20			2 一覧表示		月ごとにアイコン表示やテキスト表示ができること。	7(3)ア(ア)a	必須	
21			3		アイコンやテキストをクリックすると当該イベント情報が掲載されたページ（以下「詳細表示」という。）へ切替ができること。	7(3)ア(ア)b	必須	
22			4		自治体単位で絞込みができること。	7(3)ア(ア)c	必須	
23			5		イベント対象者の有無（対象者が限定されているか否か）で絞込みができること。	7(3)ア(ア)d	必須	
24			6		鳥取県東部・中部・西部の地域単位に絞込みができること。	7(3)ア(ア)e	必須	
25			7		カテゴリで絞込みができること。	7(3)ア(ア)f	必須	
26			8		キーワードで絞込みができること。	7(3)ア(ア)g	必須	
27			9		終了したイベント情報は自動的に非表示となること。	7(3)ア(ア)h	必須	
28			10		開催日が近い順や登録順に並び替えができること。	7(3)ア(ア)i	必須	
29			11 カレンダー表示		月ごとにアイコン表示やテキスト表示ができること。	7(3)ア(イ)a	必須	

番号	大分類		中分類		小分類	配点	要件	仕様書 該当項目	必須 区分	備考欄
30					12	600	アイコンやテキストをクリックすると詳細表示へ切替ができること。	7(3)ア(イ)b	必須	
31					13		自治体単位で絞込みができること。	7(3)ア(イ)c	必須	
32					14		イベント対象者の有無（対象者が限定されているか否か）で絞込みができること。	7(3)ア(イ)d	必須	
33					15		鳥取県東部・中部・西部の地域単位に絞込みができること。	7(3)ア(イ)e	必須	
34					16		カテゴリで絞込みができること。	7(3)ア(イ)f	必須	
35					17		キーワードで絞込みができること。	7(3)ア(イ)g	必須	
36					18		終了したイベント情報は自動的に非表示となること。	7(3)ア(イ)h	必須	
37					19		タブ等で月ごとに表示切替ができること。	7(3)ア(イ)i	必須	
38					20 マップ表示		地図上にイベント情報をアイコン等で表示できること。	7(3)ア(ウ)a	必須	
39					21		アイコン等をクリックすると詳細表示へ切替ができること。	7(3)ア(ウ)b	必須	
40					22		自治体単位で絞込みができること。	7(3)ア(ウ)c	必須	
41					23		イベント対象者の有無（対象者が限定されているか否か）で絞込みができること。	7(3)ア(ウ)d	必須	
42					24		鳥取県東部・中部・西部の地域単位に絞込みができること。	7(3)ア(ウ)e	必須	
43					25		カテゴリで絞込みができること。	7(3)ア(ウ)f	必須	
44					26		キーワードで絞込みができること。	7(3)ア(ウ)g	必須	
45					27		イベント会場までの経路が表示できること。	7(3)ア(ウ)h		
46					28		終了したイベント情報は自動的に非表示となること。	7(3)ア(ウ)i	必須	
47					29		その他、魅力的な情報発信方法やイベント発信サイトの構成があれば提案すること。	7(3)イ		
48			4	イベント情報の オープンデータ 化	1		収集・登録したイベント情報について、（１）アの項目①から㊸及び㊿をオープンデータセットに準拠した項目及び形式のオープンデータ（CSV形式、Excel形式等）を自動生成すること。	7(4)ア	必須	
49					2		（４）アで自動生成したオープンデータについては、自治体毎に出力できること。	7(4)イ	必須	
50			5	統計機能	1		イベント掲載数、イベント情報毎のWebページビュー数など、サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計し、確認できること。（受注者が確認し、報告する形で可）	7(5)		

番号	大分類	中分類	小分類	配点	要件	仕様書 該当項目	必須 区分	備考欄
51	3 鳥取県 データ連 携基盤 (オープン 系)との API連携	1 データ連携基 盤とのAPI連携	1		本システムで収集したイベント情報は、表3のサービスとデータ連携することとしているため、鳥取県データ連携基盤（オープン系）とAPI連携による接続を行うこと。 なお、現在、鳥取県データ連携基盤（オープン系）のAPIカタログサイトに掲載されている「鳥取県イベント情報の一覧取得」APIについては、イベント情報をデータ連携基盤に直接登録し連携する方法で構築したものであるが、このAPI連携によりイベント情報の連携方法を直接登録する方法からAPI連携による方法に切り替えることを想定している。 【表3 データ連携基盤を介して連携するサービス】 鳥取県・市町共同統合型GIS（令和7年度構築中） 子育て王国とっとりサイト	8(1)	必須	
52			2		鳥取県データ連携基盤（オープン系）とのAPI連携にあたっては、「FIWARE NGSI v2 仕様 (https://fiware-orion.letsfiware.jp/user/orion-api/)」に準拠することとし、必要に応じて、鳥取県データ連携基盤（オープン系）構築業者と協議すること。また、鳥取県データ連携基盤（オープン系）と接続するために必要なAPI 等に関する情報は、発注者から提供する。	8(2)	必須	
53	4 テスト要件	1 テスト	1		本システムの運用開始前に正常に動作しているか検証するため、事前に検証項目などを明確にしたテスト仕様書を作成し、当該テスト仕様書に基づき、検証すること。また、テスト結果を報告書にまとめ、発注者に提出すること。	9	必須	
54	5 システムの セキュリティ 要件	1 セキュリティ要件	1		情報の改ざんや破壊、漏えいに対する対策のほか、システムへの不正アクセスの防止対策やマルウェア対策、暗号化通信等のセキュリティ対策を万全に実施し、システムの機密性、完全性、可用性を確実に担保すること。	10(1)	必須	
55			2		システム管理者及び編集者のアクセスについては、グローバルIPアドレス等によりアクセス元を限定できること。	10(2)	必須	
			3		パスワードは、英大文字、英小文字、数字、記号が利用できること。文字数は10文字以下の設定を不可とすること。また、類推しやすい並び方やその安易な組合せにしない等の基本的な対策をとること。	10(3)	必須	
57			4		操作ログ、認証ログ、アクセスログ、イベントログ、通信ログ及びエラーログを採取し、セキュリティインシデント等が発生した場合に追跡調査ができること。	10(4)	必須	
58			5		前項のログは、最低1年分を保持することとし、具体的な保持期間は、発注者と受注者が協議して定める。	10(5)	必須	
59			6		ウイルス対策ソフトを導入し、常に最新のウイルス定義ファイルを適用すること。	10(6)	必須	
60			7		OS、ミドルウェア、ソフトウェア等は導入時最新のものとし、既知のセキュリティホール（脆弱性）については、すべて対策を講じること。また、以後、新たなセキュリティホール（脆弱性）が明らかになった際は速やかに対策を講じるほか、OS、ミドルウェア、ソフトウェア等を最新の状態に保つこと。	10(7)	必須	
61			8		情報セキュリティインシデント発生時の早期発見や被害拡大防止策等の迅速な実施のため、必要な機器を監視すること。	10(8)	必須	
62	6 ドメインの 取り扱い	1 ドメイン	1		ドメイン名は発注者と調整の上、登録すること。	11(1)	必須	
63			2		本システムによる情報発信終了後（ドメイン利用停止後）も1年以上ドメインを廃止することなく延長保有すること。なお、延長及び廃止に係る対応については発注者と受注者が協議の上、実施する。	11(2)	必須	

番号	大分類		中分類		小分類	配点	要件	仕様書 該当項目	必須 区分	備考欄
64					3	330	本システムによる情報発信を終了する場合は、イベント発信サイト内で 6 か月前を目安にドメイン利用停止に関する案内（事前告知）を行うこと。	11(3)	必須	
65	7	運用・保守	1	運用・保守の内容	1		計画利用停止時間を除き、原則24時間365日利用できること。	12(1)ア	必須	
66					2		発注者等からの操作等に関する問い合わせについて対応すること。	12(1)イ	必須	
67					3		7（2）で収集したイベント情報は、内容を確認し必要に応じて修正等を行った上で、発信、オープンデータ化を行うこと。	12(1)ウ	必須	
68					4		表示されたイベント情報に誤りがあり、イベント主催者（県や市町村等）からイベント情報の修正依頼があれば対応すること。	12(1)エ	必須	
69					5		本システム内のデータのバックアップを定期的に（1日1回以上）行うこと。また、バックアップデータは少なくとも7日間保管すること。	12(1)オ	必須	
70					6		本システム内の過去のイベントデータはイベント終了から少なくとも3年間以上保存すること。	12(1)カ	必須	
71					7		ハードウェア障害の監視・対応を行うこと。	12(1)キ	必須	
72					8		ソフトウェア障害の監視・対応を行うこと。	12(1)ク	必須	
73					9		10のシステムのセキュリティ要件に記載する対策を講じること。	12(1)ケ	必須	
74					10		セキュリティインシデントの発生を覚知した場合は、即時に発注者に報告し、速やかに予防、被害拡大防止、原因特定、復旧等を行うこと。併せて、再発防止策を講じること。	12(1)コ	必須	
75					11		操作説明書等の各種納品物について、利用期間中に内容の変更が生じた場合には、適宜改訂を行い、発注者に提出すること。	12(1)サ	必須	
76			2	障害対応	1		障害発生時の緊急連絡体制を構築すること。	12(2)ア	必須	
77					2		障害発生時には、即時に発注者に報告するとともに原因の切り分けを行い、速やかに復旧させること。	12(2)イ	必須	
78					3		障害等によるデータが破損した際にはデータの復元に対応すること。	12(2)ウ	必須	
79					4		障害原因を明らかにし、恒久的な対応策を実施し、再発の防止に努めること。併せて対応結果を発注者に報告すること。	12(2)エ	必須	
80	8	その他	1	その他	1	130	鳥取県内に本店、支店、営業所又はその他の事業所を有していること。	－		
81					2		上記項目以外に魅力的な提案があれば記載すること。	－		
技術点						1,200				